

防災地域建設委員会資料

1 報告事項

(1) 令和6年度国土交通省関係当初予算の配分について ……P1

(2) 山陰道(松江玉造 IC～宍道 JCT 間)の4車化について ……P10

令和6年4月11日

土木部

令和6年度 国土交通省関係当初予算の配分について

1. 国の配分方針

(1) 令和6年度国土交通省関係予算では、「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「個性をいかした地域づくりと分散型国づくり」を3本柱として、令和5年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進めることとしている。

(2) また、社会資本整備については、ストック効果の最大化に取り組みつつ、既存施設の計画的な維持管理・更新・利活用を図りながら、上記の3本柱の実現に資する波及効果の大きなプロジェクトを戦略的かつ計画的に展開していく必要がある。

(3) 以上のような点を踏まえ、一般公共事業等予算の配分に当たっては、

- ・気候変動による水害や土砂災害の激甚化に対抗する「流域治水」の加速化・強化
- ・インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナンスの実現
- ・地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援（防災・安全交付金）
- ・効率的な物流ネットワークの早期整備・活用
- ・国際コンテナ戦略港湾の機能強化
- ・成長の基盤となる社会資本整備の総合的支援（社会資本整備総合交付金）
- ・コンパクトでゆとりとにぎわいのあるまちづくりの推進
- ・多様な世帯が安心して暮らせる住宅セーフティネット機能の強化
- ・国民保護・総合的な防衛体制の強化等に資する公共インフラ整備

などについて、地域の実情や要望、事業の必要性や緊急性に基づき、配分を行う。

2. 直轄事業の配分状況 (R5 補正予算を合算)

(1) 道路局所管分

1) 道路事業

- ・ 県全体の配分額 272.91 億円は、対前年度比 0.82 (令和5年度山陰道開通済箇所を除くと対前年度比1.19)
- ・ 山陰道整備促進のため、244.30 億円が配分された。
- ・ 出雲湖陵道路及び湖陵多伎道路は、令和6年度開通予定

(事業費)

箇所名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
改築 (山陰道関連)	4,877	25,132	30,009	4,104	20,326	24,430	0.81
出雲・湖陵道路	947	3,437	4,384	1,060	3,876	4,936	1.13
湖陵・多伎道路	280	1,419	1,699	350	3,545	3,895	2.29
大田・静間道路 (令和5年度開通済)	815	4,774	5,589	—	152	152	0.03
静間・仁摩道路 (令和5年度開通済)	624	4,232	4,856	—	149	149	0.03
福光・浅利道路	811	1,774	2,585	854	2,583	3,437	1.33
三隅・益田道路	875	9,005	9,880	1,110	9,560	10,670	1.08
益田道路 (久城～高津)	—	100	100	100	129	229	2.29
益田・田万川道路	125	187	312	210	79	289	0.93
益田西道路	400	204	604	420	253	673	1.11
改築 (その他)	60	450	510	134	491	625	1.23
出雲バイパス (神立～中野東)	60	105	165	134	109	243	1.47
三刀屋拡幅	—	345	345	—	382	382	1.11
交通安全	501	1,323	1,824	365	1,431	1,796	0.98
電線共同溝	350	440	790	—	440	440	0.56
合計	5,788	27,345	33,133	4,603	22,688	27,291	0.82
合計 (令和5年度山陰道開通済箇所を除く)	4,349	18,339	22,688	4,603	22,387	26,990	1.19

※このほかに未公表の交通安全Ⅱ種がある。

※ (参考) 高速道路の暫定2車線区間の4車線化として、山陰自動車道 (松江玉造IC～宍道JCT間) のうち、約3.0kmが新規事業化された。

(2) 水管理・国土保全局所管分

1) 河川事業

- ・県全体の配分額 113.32 億円は、対前年度比 1.01
- ・斐伊川河川改修^{※1}は、大橋川の築堤などの整備促進のため、72.85 億円が配分された。
- ・江の川（下流）改修は、築堤などの整備促進のため、25.28 億円が配分された。

(事業費)

箇所名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
河川改修費	5,965	4,012	9,977	6,216	4,018	10,234	1.03
斐伊川	5,310	1,857	7,167	5,428	1,857	<u>7,285</u>	1.02
江の川（下流）	495	2,020	2,515	498	2,030	<u>2,528</u>	1.01
高津川	160	135	295	290	131	421	1.43
河川工作物関連応急対策事業	213	124	337	69	324	393	1.17
斐伊川	145	64	209	—	164	164	0.78
江の川（下流）	39	—	39	61	140	201	5.15
高津川	29	60	89	8	20	28	0.31
総合水系環境整備事業	424	522	946	200	505	705	0.75
斐伊川	424	441	865	180	446	626	0.72
高津川	—	81	81	20	59	79	0.98
合 計	6,602	4,658	11,260	6,485	4,847	<u>11,332</u>	<u>1.01</u>

※1：斐伊川河川改修は、一般河川改修事業と河川都市基盤整備事業の合計

※2：斐伊川の事業費は、鳥取県分を含む。

(3) 港湾局所管分

1) 港湾事業

- ・浜田港全体の配分額 12.00 億円は、対前年度比 0.80
- ・新北防波堤の整備促進を図るため、5.00 億円が配分された。
- ・福井地区の老朽化対策費として、7.00 億円が配分された。

(事業費)

箇所名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
浜田港 福井地区 防波堤（新北）	320	140	460	336	164	<u>500</u>	1.09
浜田港 福井地区 岸壁改良（老朽化対策）	350	686	1,036	-	700	<u>700</u>	0.68
合 計	670	826	1,496	336	864	<u>1,200</u>	<u>0.80</u>

3. 補助事業の配分状況 (R5 補正予算と合算)

(1) 道路局・都市局所管分

1) 一般国道改築事業

- ・境港出雲道路の一部となる松江北道路に、7.87 億円が配分された。

(事業費)

箇所名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
国道431号 松江北道路	100	436	536	322	465	787	1.47
合計	100	436	536	322	465	787	1.47

2) 交通安全対策 (通学路緊急対策) 事業

- ・通学路の安全を確保する交通安全対策事業に、32.25 億円が配分された。

(事業費)

事業名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
交通安全対策 (通学路緊急対策) 事業	861	1,973	2,834	1,157	2,068	3,225	1.14
合計	861	1,973	2,834	1,157	2,068	3,225	1.14

3) 無電柱化推進計画事業

- ・道路の防災性能の向上、通行空間の安全性・快適性の確保、良好な景観形成等を目的とした無電柱化推進計画事業に、1.89 億円が配分された。

(事業費)

事業名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
島根県無電柱化 推進計画事業	250	314	564	61	128	189	0.34
合計	250	314	564	61	128	189	0.34

4) 道路メンテナンス事業

- ・道路施設の老朽化対策として実施する橋梁等の修繕に、28.02億円が配分された。

(事業費)

事業名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
橋梁長寿命化 修繕計画	373	2,075	2,448	504	1,928	2,432	0.99
トンネル長寿命化 修繕計画	100	—	100	113	55	168	1.68
道路附属物等長寿命化 修繕計画	46	231	277	164	38	202	0.73
合計	519	2,306	2,825	781	2,021	<u>2,802</u>	0.99

5) 土砂災害対策道路事業

- ・道路の土砂災害対策（落石対策）に、7.18億円が配分された。

(事業費)

箇所名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
土砂災害対策道路事業	50	390	440	222	496	<u>718</u>	1.63
合計	50	390	440	222	496	718	1.63

(2) 水管理・国土保全局所管分

1) ダム事業

- ・補助事業として実施している矢原川ダムに、8.60億円が配分された。

(事業費)

事業名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
矢原川ダム建設事業	350	777	1,127	300	560	<u>860</u>	0.76
合計	350	777	1,127	300	560	860	0.76

2) 大規模特定河川事業

- ・頻発・激甚化する災害への対応として、計画的・集中的な事前防災対策を実施するため、大規模特定河川事業に、15.66億円が配分された。

(事業費)

河川名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
湯谷川	110	164	274	60	344	404	1.47
赤川、塩冶赤川	650	544	1,194	350	346	696	0.58
中川	276	206	482	190	60	250	0.51
玉川	50	76	126	100	116	216	1.71
合計	1,086	990	2,076	700	866	1,566	0.75

3) 砂防事業（特定土砂災害対策推進事業）

- ・頻発・激甚化する土砂災害への対応として、計画的・集中的に事前防災対策を推進するため、事業間連携砂防等事業に12.90億円、まちづくり連携砂防等事業に1.55億円が配分された。

(事業費)

事業名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
大規模特定砂防等事業	10	10	20	—	—	—	皆減
事業間連携砂防等事業	365	989	1,354	543	747	1,290	0.95
まちづくり連携砂防等事業	—	—	—	—	155	155	皆増
合計	375	999	1,374	543	902	1,445	1.05

4) 河川メンテナンス事業等

- ・老朽化した排水機等河川管理施設の更新を推進するため、河川メンテナンス事業に、2.28億円が配分された。
- ・老朽化したダム管理用制御処理設備の更新を推進するため、ダムメンテナンス事業に、4.09億円が配分された。
- ・長寿命化計画の策定および急傾斜地崩壊対策施設の老朽化対策を推進するため、砂防メンテナンス事業に、6.04億円が配分された。
- ・老朽化した海岸保全施設の更新を推進するため、海岸メンテナンス事業に、1.40億円が配分された。

(事業費)

事業名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
河川メンテナンス事業	—	128	128	90	138	228	1.78
ダムメンテナンス事業	86	160	246	259	150	409	1.66
砂防メンテナンス事業	240	5	245	524	80	604	2.47
海岸メンテナンス事業	50	20	70	120	20	140	2.00
合計	376	313	689	993	388	1,381	2.00

※ダムメンテナンス事業費は、利水者負担金を除いた額

5) 下水道事業

- ・宍道湖流域下水道の維持管理及び改築更新推進に係る官民連携方式の導入可能性調査事業に、0.15億円が配分された。

(事業費)

事業名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
島根県宍道湖流域下水道 官民連携事業等基盤強化 推進事業	—	—	—	—	15	15	皆増
合計	—	—	—	—	15	15	皆増

(3) 港湾局・航空局所管分

1) 港湾改修事業

- ・浜田港の臨港道路整備に、2.00億円が配分された。

(事業費)

事業名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
浜田港 港湾整備(重要)事業	—	200	200	—	200	200	1.00
浜田港 港湾脱炭素化推進計画 策定事業	—	30	30	—	—	—	皆減
合計	—	230	230	—	200	200	0.87

※河下港には、港整備推進交付金(内閣府所管)により、岸壁整備に1.3億円が配分された。

2) 港湾及び海岸メンテナンス事業

- ・港湾施設及び港湾海岸施設の老朽化対策を推進するため、港湾、海岸メンテナンス事業に、3.04億円が配分された。

(事業費)

事業名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
港湾メンテナンス事業	—	16	16	132	16	148	9.25
海岸メンテナンス事業	40	100	140	56	100	156	1.11
合計	40	116	156	188	116	304	1.95

3) 空港事業

- ・出雲空港の航空灯火(設計)および場周柵の更新並びに石見空港の電源設備の更新に、2.81億円が配分された。

(事業費)

事業名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
空港整備事業	—	860	860	—	281	281	0.33
合計	—	860	860	—	281	281	0.33

4. 社会資本総合整備事業の配分状況 (R5 補正予算と合算)

・社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金の合計額は、247.10 億円となり、対前年度比 1.13

(国費)

事業名	R4 2次補正 内示① (百万円)	R5 当初 内示② (百万円)	③=①+② (百万円)	R5 補正 内示④ (百万円)	R6 当初 内示⑤ (百万円)	⑥=④+⑤ (百万円)	対前年度比 (⑥/③)
社会資本整備総合交付金【加速化分】	632	—	632	1,511	—	1,511	2.39
道路事業	632	—	632	1,511	—	1,511	2.39
社会資本整備総合交付金【通常分】	—	6,217	6,217	234	5,635	5,869	0.94
道路事業	—	3,297	3,297	234	2,561	2,795	0.85
都市計画事業	—	118	118	—	271	271	2.30
下水道事業	—	1,868	1,868	—	2,121	2,121	1.14
建築事業	—	933	933	—	683	683	0.73
防災・安全交付金【加速化分】	4,468	—	4,468	5,035	—	5,035	1.13
道路事業	1,910	—	1,910	2,214	—	2,214	1.16
河川事業	1,511	—	1,511	1,653	—	1,653	1.09
砂防事業	553	—	553	776	—	776	1.40
港湾事業	277	—	277	160	—	160	0.58
都市計画事業	23	—	23	39	—	39	1.70
下水道事業	194	—	194	193	—	193	0.99
防災・安全交付金【通常分】	—	10,520	10,520	—	12,295	12,295	1.17
道路事業	—	7,053	7,053	—	8,897	8,897	1.26
河川事業	—	365	365	—	396	396	1.08
砂防事業	—	785	785	—	867	867	1.10
港湾事業	—	250	250	—	225	225	0.90
都市計画事業	—	377	377	—	341	341	0.90
下水道事業	—	1,187	1,187	—	1,170	1,170	0.99
建築事業	—	503	503	—	399	399	0.79
合 計	5,100	16,737	21,837	6,780	17,930	24,710	1.13
道路事業	2,542	10,350	12,892	3,959	11,458	15,417	1.20
河川事業	1,511	365	1,876	1,653	396	2,049	1.09
砂防事業	553	785	1,338	776	867	1,643	1.23
港湾事業	277	250	527	160	225	385	0.73
都市計画事業	23	495	518	39	612	651	1.26
下水道事業	194	3,056	3,250	193	3,291	3,483	1.07
建築事業	—	1,436	1,436	—	1,082	1,082	0.75

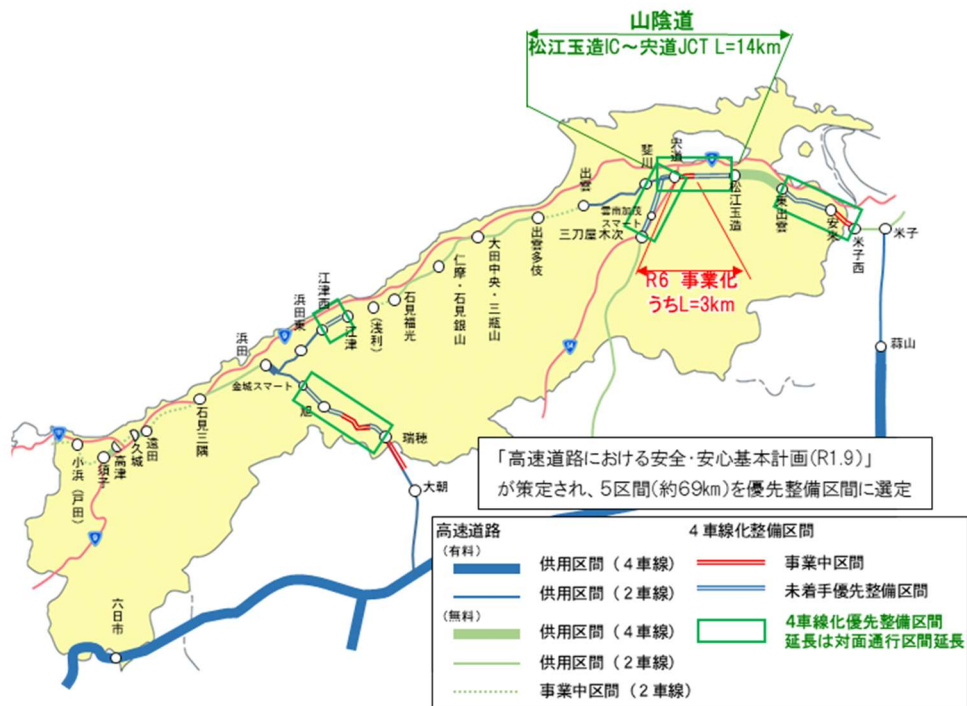
※上記には市町村分も含んでいる。

※四捨五入の関係で表中の計数が一致しないところがある。

山陰道（松江玉造IC～宍道JCT間）の4車線化について

山陰道（松江玉造IC～宍道JCT間）の4車線化について、国土交通省より高速道路会社へ令和6年3月27日に事業許可が行われ、新規事業化されました。

- ・優先整備区間延長15.7km（このうち対面通行区間は14.1km）のうち、3.0kmを4車線化
- ・全体事業費：約180億円



路線名	区間名	区間延長	対面通行区間延長	優先整備区間	備考
山陰道(安来道路)	米子西IC～安来IC	7km	7km	○	R3事業化
	安来IC～東出雲IC	13km	13km	○	
山陰道	松江玉造IC～宍道JCT	16km	14km	○	R6事業化(3.0km分)
松江自動車道	三刀屋木次IC～宍道JCT	11km	11km	○	
山陰道(江津道路)	江津IC～江津西IC	5km	5km	○	
浜田自動車道	大朝IC～瑞穂IC	12km	6km	—	R4事業化(3.8km分)
	瑞穂IC～旭IC	15km	13km	○	R4事業化(7.4km分)
	旭IC～金城PAスマートIC	8km	6km	○	
県内の優先整備区間延長				約 69 km	
県内の対面通行区間延長				103km	